

<目次>

●事故多発でもリニア調査掘進強行の方針！

■川崎市でも給食費無料化の実現を！

▲ お知らせコーナー

☆ 2/17～22 第13回中原・平和をねがう原爆展

☆ 2/19(日)第31回子どもの未来をひらく川崎集会

☆ 2/21(火)講演「川崎市でも学校給食を無料に」

☆ 2/25(土)ゆめシネマ 23「標的」

☆ 2/28(火)第15回輝け！高齢期・かながわのつどい

☆ 3/12(日)第12回原発ゼロへのカウントダウン in かわさき

★ 編集後記

●事故多発でもリニア調査掘進強行の方針！

JR 東海は、1月に市内3カ所で、リニア新幹線の調査掘進説明会を開催。2回目の1月19日、中原市民館に参加した住民から詳細な議事録が届きました。その要約を紹介します。

大深度地下工事は、地表に影響はないとの当初の触れ込みはすでに破綻。東京外環道工事の深刻な事故、JR 東海が調査掘進を始めた北品川では 50m でストップ。

リニア新幹線工事では4件のトンネル事故と報道がある。全体でどれだけ事故が起きているのか明らかにするよう求めたのに対し、「4件に限らず多数の事故が起きているが件数は公表していない。社内に新たに労働災害を防止する組織を作り、様々な対策を強化している。」との回答。

川崎の掘削地域は、調布のような「特殊地盤」はないと言うが、そう言いきれぬのか。という質問に対し、「川崎では、シルト層と砂層があり上部はしっかりとした地層になっている。これは専門家の先生方に確認をしてもらっている。」とのこと。(シルト層＝砂より小さく、粘土より粗い地層)

トンネル工事は何が起きるかわからない。安全対策や事故の調査について独立性をもった第三者委員会を公開で行う考えがあるか。という質問には、

「シールドトンネル部会の専門家の意見を聞きながら進めていく。」つまり、第三者委員会はつくりないと表明しました。

また、外環工事では事故が起きる前から振動などの苦情があったのに、それを無視して工事を続けて、大事故が起きた。JR 東海は、工事が始まって振動や地盤の変化がわかたら工事を止めるのか。という質問に対しては、「苦情があった場合、その状況にあった対処をしていきたい。」と答えました。

調布事故が起きて、JR 東海は振動や騒音などの変異が起きることを認めました。さらに、公表されている 4 件以外にも多くの事故が起きていることを認めました。しかし、その内容や対策は明らかにせず調査掘進を川崎 2 ヶ所で開始しようとしていることは重大です。安寧に暮らしている住宅街の真下を住民の同意なく掘ることは許されません。

■ 川崎市でも給食費無料化の実現を

川崎市内で今、「学校給食の無料化（無償化）」を求める市民運動が急速に広がっています。

1 月 20 日、「ゆきとどいた教育をすすめる川崎市民の会」は、次の「お願い文」を発出し、請願署名運動をよびかけました。

第 1 ラウンドとして 2 月 16 日に川崎市議会に提出。請願が不採択や、継続審議となり市議会解散で廃案となった場合は、署名運動をさらに盛り上げて、次の 6 月議会への提出を呼びかけています。

<「お願い文」（要約）>

ゆきとどいた教育をすすめる川崎市民の会は、他の団体と共同して川崎の中学校給食の実現をめざして 20 年を超えるねばり強い取り組みで、ついに、2017 年から全中学校で実現させることができました。

その際に、私たちが特に大切にしたいことは、学校給食は単なる「食事の提供」ではなく、食の教育（食育）として、学校教育の大事な活動だということでした。まさに、教育の一環なのです。

そして、日本国憲法は、第 26 条で「義務教育は、これを無償とする」と定めています。そうならば、すべての子どもが、給食費の心配なく平等に給食を食べ、食の教育を受けられるようにするためにも、政府・自治体の責任で学校給食費の無料化を実施することは当然だと考えます。

川崎でも一刻も早く給食の無料化を求める声が大きく広がっています。その願いに応えるには、来年度を待つのではなく、今からでも、緊急に請願行動を始めることとしました。

<宮前区では>

「子育て先進都市・川崎の実現をめざす@宮前」が、2 月 11 日に学校給食費無償化署名のスタート集会を計画しています。

そして、この集会を契機に、子育て世代の方も含めた運動に発展させようとしています。

連絡先は、藤田宏 090-6034-7686

<多摩区では>

共産党の赤石市議が 1 月、学校給食無料化の学習会を開催。

「無償化や食材の地産地消、有機化などに取り組んでいる国内外の前進事例を DVD 視聴して意見交換しました。

義務教育は無償とうたわれていること、無償といっても、「財源は私たちの税金。子どもは社会全体で育てる。この視点が大事。」と報告しています。

<市議会では>

共産党川崎市議団が市民の運動に連携して、2月21日に、「学校給食の無料化」学習会を計画します。また、3月市議会でも無料化を目指す論戦を準備しています。

→詳細は、川崎市議団ホームページ

<https://onl.la/UXDD1di>

▲ お知らせコーナー

☆第13回中原・平和をねがう原爆展

2/17(金)～22(水) 10時～17時

中原市民館 ギャラリー

主催：中原・平和を願う原爆展実行委員会

後援：川崎市平和館・川崎市教育委員会

☆第31回子どもの未来をひらく川崎集会

2/19(日) 10時開会

法政大学第二中・高等学校にて

講演：西郷孝彦さん（元世田谷区立桜丘中学校長）

校則をなくした中学校 ―たったひとつの校長ルール―

資料代：500円

<http://miraishuukai.jugem.jp/>

☆講演「川崎市でも学校給食を無料に」

講師：千葉工業大学准教授 福島 尚子氏

- ・給食無償の進展状況
- ・福祉としての給食、教育としての給食

2/21 (火)18時半より

川崎市総合自治会館/大会議室 1～3

参加費無料

主催：日本共産党川崎市議会議員団 044-200-3360

youtube 配信を行ないます。

お申し込みは info@jcp-kawasakigr.jp まで

<https://onl.la/m75q7Ub>

☆ゆめシネマ 23 「標的」

元慰安婦の証言記事はねつ造？ 真実？

植村隆さんアフタートーク（各回とも）

2/25(土)

① 10 時

② 13 時

③ 16 時

入場料：一般 1000 円 障 500 円 学 200 円

会場 かわさきゆめホール

申し込み問い合わせ

044-433-3003

cinema@kawasakiyume.com

☆第 15 回輝け！高齢期・かながわのつどい

—— in かわさき ——

憲法と高齢者の人権とくらしをまもろう

～軍拡 NO！ 社会保障の充実を求める政治を～

記念公演 松元ヒロ

特別講演 市古ひろかず

2/28(火)10 時半

川崎市産業振興会館

資料代 800 円（要予約）

☎ 044-266-7532（受付：月～金 10 時～ 17 時）

s.shirovani@kawaikyo.or.jp

☆第 12 回原発ゼロへのカウントダウン in かわさき(集会&デモ)

3/12(日)11:00

ゲスト：金子勝(経済学者) 北村賢二郎(弁護士)

問合せ：044-211-0121 (川崎合同法律事務所・三嶋健)

メール：kibounotsubasa@gmail.com

(かもした元)

<https://genpatsuzero.net/>

★ 編集後記

南武線の武蔵小杉から矢向駅の間が高架化され、沿線住民の永年の夢が現実となります。

この事業により、9 箇所の踏切が無くなります。向河原、平間、鹿島田駅舎が大変貌を遂げることになります。

スケジュールとしては、2023年度末までに都市計画を決定。6年かけて用地取得。2033年下り線完成。2039年完工予定。

なかなかのテンポです。生きている内に見られるかも。

踏切が無くなることで、住民にとっての利便性、安全性が高まることは歓迎すべき事です。

現在の線路敷地に対し、西側に橋脚を立てて下り線を建設、東側が空くので、自転車が通れる歩道をつくるとのこと。

しかし、工事に伴う立ち退きや、工事期間中の騒音、工事車両の出入りなど危険性の増大も予測されます。

私たちは、浮かれるばかりで無く、しっかりと見守っていきましょう。(Y)

川崎市ホームページ↓↓

<https://onl.la/kc92s6u>